

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 移動金融店舗導入

JA名 しみず（静岡県）

1 動機 (経緯)	店舗統廃合による営業店減少が加速するなか、店舗やATMが少ない中山間地の信用取引に係る利便性を高め、中山間地における地域ライフラインの一翼を担うとともに、二次効果として、地域農協としてのブランドイメージ向上により、相続など各種相談業務を介して次世代層との接点を広げることで、世帯取引の拡大を図る。
2 概要	移動金融店舗の取扱業務 <ul style="list-style-type: none"> ・貯金（入出金、定積掛込、定期受入等） ・為替業務 ・公共料金受入 ・共済掛金の掛込（新契約は除く） ・取次業務（金額の大きい出金・定期の新規・解約） ・相談業務（各種ローン・年金振込指定等） ※取次・相談内容により最寄の店舗職員やMAによるフォローを行う。
3 成果 (効果)	・中山間地における高齢者世帯のサービス充実を図り、地域ライフラインの一翼を担う。 ・年金取引者等、高齢者世帯を対象に、貯金残高の安定化を図る。 ・高齢者世帯を対象として、地域における信頼のブランドイメージを構築し、新たな次世代取引先の開拓を行う。 ・非常災害時には、発電機を用いて臨時店舗を営業、被災店舗のバックアップ機能を果たすことが可能。
4 今後の 予定（課題）	・時間的・空間的制限がある為バランスを考慮したうえで、利用者拡大を図る。 ・車両メンテナンス時の顧客対応。(いつも同じ時間に訪問することによる利便性に対し、イレギュラーな対応を取らざるを得ない場合の顧客対応。) ・運行場所・運行時間の選定、見直し。